

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	信託期間は2013年7月12日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	UBSアセット・マネジメント株式会社が運用を行う「UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)」を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

米国成長株式ファンド

運用報告書(全体版)

第10期(決算日 2023年6月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・ 基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・ 原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・ 一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・ 指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
第6期(2019年6月26日)	22,351	0	9.1	344,663	7.9	—	98.7	11,300
第7期(2020年6月26日)	26,692	0	19.4	424,605	23.2	—	98.3	12,597
第8期(2021年6月28日)	37,807	0	41.6	620,821	46.2	—	97.6	19,694
第9期(2022年6月27日)	37,250	0	△1.5	646,070	4.1	—	97.1	30,521
第10期(2023年6月26日)	46,023	0	23.6	816,721	26.4	—	99.4	41,012

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(当期首) 2022年6月27日	円	%		%	%	%
6月末	37,250	—	646,070	—	—	97.1
7月末	36,559	△1.9	634,802	△1.7	—	97.6
8月末	38,500	3.4	679,065	5.1	—	98.1
9月末	38,560	3.5	684,737	6.0	—	98.1
10月末	36,567	△1.8	651,143	0.8	—	98.2
11月末	39,013	4.7	700,077	8.4	—	98.4
12月末	36,180	△2.9	652,141	0.9	—	98.1
2023年1月末	33,358	△10.4	600,633	△7.0	—	98.0
2月末	34,836	△6.5	627,455	△2.9	—	98.5
3月末	36,696	△1.5	659,992	2.2	—	98.2
4月末	37,250	0.0	677,366	4.8	—	98.7
5月末	38,266	2.7	693,619	7.4	—	98.2
(当期末) 2023年6月26日	43,074	15.6	765,817	18.5	—	98.7
	46,023	23.6	816,721	26.4	—	99.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

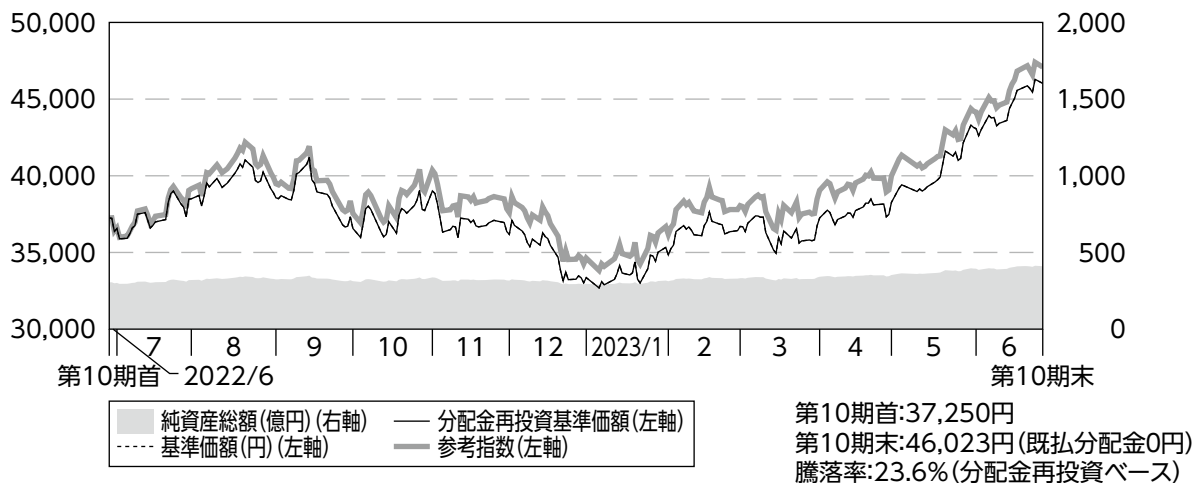
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

参考指数は、ラッセル1000グロース指数(配当込、円換算ベース)です。

ラッセル1000[®]グロース指数は、ラッセル・インベストメントが算出・公表する米国の大型成長株のパフォーマンスをあらわす指数です。「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに当社が独自に円換算した指数です。当該インデックスに関する商標・著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利はラッセル・インベストメントに帰属します。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額及び参考指数は、2022年6月27日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

【「UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)」の変動要因】

保有銘柄の中では、情報家電のアップル、クラウドサービスや業務用ソフトウェアのマイクロソフト、AI(人工知能)開発に利用される半導体メーカーのエヌビディアなど、安定した財務基盤を誇り、当ファンドがコア銘柄として保有する超大型銘柄の株価が上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。一方、業績見通しが市場予想を下回った金融業務処理・決済サービスのフィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスズ、長期金利の上昇と成長性の低下が懸念材料となった無線通信インフラ特化型REITのクラウン・キャッスルなどの株価が下落し、基準価額にマイナスに影響しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)	米国の株式	99.4%	25.3%
短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期金融資産等	0.0%	△0.0%

(注)比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

投資環境



米国株式市場は上昇しました。米長期金利の低下や底堅い企業業績を背景に、米国株式市場は期初より上昇して始まりました。2022年8月には、パウエルFRB（米連邦準備理事会）議長がインフレ抑制のため積極的な利上げを継続する方針を表明し、景気悪化懸念が高まって米国株式市場は10月半ばまで下落基調となりました。その後、インフレのピークアウト観測を手がかりに反発し、利上げペース減速への期待やゼロコロナ政策の終了を受けた中国経済の回復期待などに後押しされ、概ね上昇基調で推移しました。2023年3月には米中堅地銀の経営破綻に端を発した金融不安の高まりから値を崩す局面もありましたが、当局の迅速な対応により過度な不安が和らぐにつれて反発しました。期末にかけては、米中対立の深刻化や利上げの長期化観測などの不安材料がくすぶっていたものの、生成AI（人工知能）の普及期待が追い風となったテクノロジーセクターにけん引され、米国株式市場は一段高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

主要投資対象である「UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)」の組み入れを高位に保ち運用しました。

・UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)

「UBS USグロース株式マザーファンド」への投資を通じて、高い成長が期待される米国株式に投資を行いました。急ピッチでの利上げがグロース株に逆風となる環境にあったことから、ポートフォリオでは業績面で確信度の高い銘柄を重視しました。具体的には、社会に不可欠なインフラとなったクラウドサービスやサーバー・セキュリティ、自社で提供する製品と親和性の高いサービス事業の伸びが業績を支えるハードウェア、AI開発に必須の半導体、経済活動の活発化を追い風とするクレジットカード、インフレ環境下で収益の安定性が際立つヘルスケア関連などをコア銘柄としました。

＜投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。＞

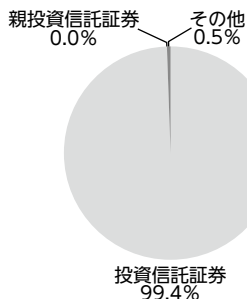
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

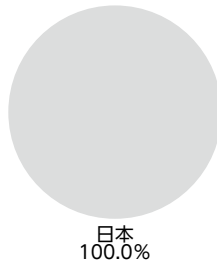
	当期末
	2023年6月26日
UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)	99.4%
短期金融資産 マザーファンド	0.0%
その他	0.5%
組入ファンド数	2

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

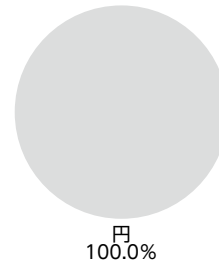
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

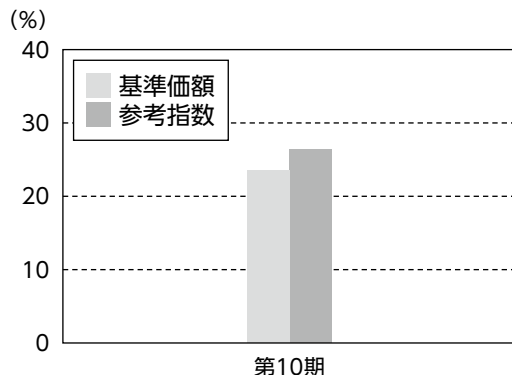


(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
 その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)と参考指数の騰落率の対比です。



分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第10期	
	2022年6月28日~2023年6月26日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	36,022	

(注1) 「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示します。

○当ファンド

UBSアセット・マネジメント株式会社が運用を行う「UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)」への投資を通じて、主として米国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行います。

・UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)

UBS USグロース株式マザーファンドを通じて米国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。

・短期金融資産 マザーファンド

わが国の短期金融資産等を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年6月28日~2023年6月26日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	435円	1.163%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は37,404円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(115)	(0.307)	
(販売会社)	(308)	(0.823)	
(受託会社)	(12)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	2	0.005	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(2)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	437	1.168	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

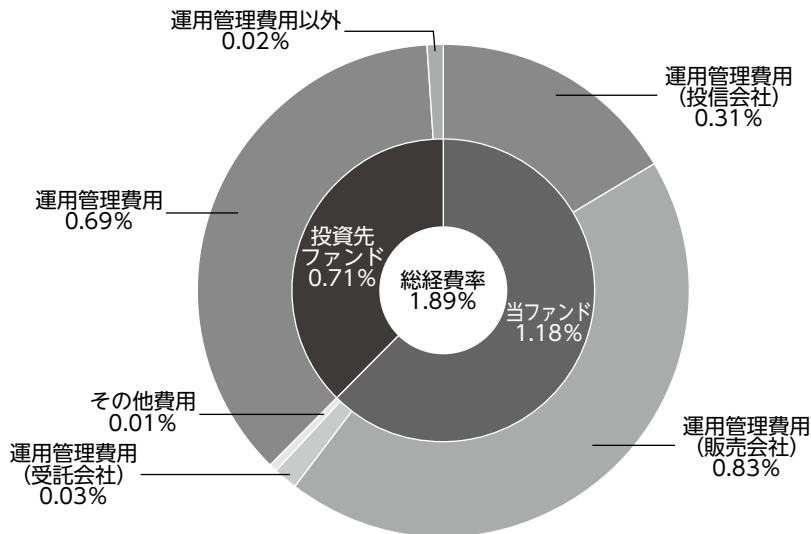
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.89%です。



総経費率(①+②+③)	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<投資信託受益証券>

		当 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	UBS USグロース株式ファンド (適格機関投資家向け)	千口 984,576	千円 4,100,000	千口 286,154	千円 1,386,770

(注)金額は受渡代金です。

利害関係人^{*}との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
投資信託受益証券	百万円 4,100	百万円 4,100	% 100.0	百万円 1,386	百万円 1,386	% 100.0
金 銭 信 託	0.052572	0.052572	100.0	0.052572	0.052572	100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	180,799	20,167	11.2	181,132	20,134	11.1

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<短期金融資産 マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 0.716259	百万円 0.716259	% 100.0	百万円 0.716259	百万円 0.716259	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	2,436,125	272,213	11.2	2,436,352	271,289	11.1

<平均保有割合 0.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

<当ファンドが組み入れた邦貨建ファンドの明細>

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
株式ファンド	千口	千円	%
UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)	7,775,202	40,787,157	99.4

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

<親投資信託残高>

	当 期 首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 493	千口 493	千円 499

(注) 親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、9,468,728千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 40,787,157	% 98.2
短 期 金 融 資 産 マザーファンド	499	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	750,152	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	41,537,808	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2023年6月26日現在
(A)資 産	41,537,808,538円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	750,151,695
投資信託受益証券(評価額)	40,787,157,830
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	499,013
(B)負 債	524,940,132
未 払 解 約 金	325,301,391
未 払 信 託 報 酬	198,808,451
未 払 利 息	1,839
そ の 他 未 払 費 用	828,451
(C)純 資 産 総 額(A-B)	41,012,868,406
元 本	8,911,389,539
次 期 繰 越 損 益 金	32,101,478,867
(D)受 益 権 総 口 数	8,911,389,539口
1万口当たり基準価額(C/D)	46,023円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2022年6月28日 至 2023年6月26日
(A)配 当 等 収 益	△325,708円
受 取 利 息	2,694
支 払 利 息	△328,402
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	8,091,126,964
売 買 益	8,505,974,559
売 買 損	△414,847,595
(C)信 託 報 酬 等	△387,739,989
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	7,703,061,267
(E)前 期 繰 越 損 益 金	2,514,905,120
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	21,883,512,480
(配 当 等 相 当 額)	(12,988,561,361)
(売 買 損 益 相 当 額)	(8,894,951,119)
(G)計 (D+E+F)	32,101,478,867
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	32,101,478,867
追 加 信 託 差 損 益 金	21,883,512,480
(配 当 等 相 当 額)	(12,988,561,361)
(売 買 損 益 相 当 額)	(8,894,951,119)
分 配 準 備 積 立 金	10,218,292,316
繰 越 損 益 金	△325,929

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は8,193,888,930円、期中追加設定元本額は1,990,832,954円、期中一部解約元本額は1,273,332,345円です。

※分配金の計算過程

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	－円
(B) 有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	6,545,264,884円
(C) 収益調整金額	21,883,186,551円
(D) 分配準備積立金額	3,673,027,432円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	32,101,478,867円
(F) 期末残存口数	8,911,389,539口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり)(E/F×10,000)	36,022円
(H) 分配金額(1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	－円

お知らせ

該当事項はありません。

組入投資信託証券の内容

■UBS USグロース株式ファンド(適格機関投資家向け)

●ファンドの概要

運用会社	UBSアセット・マネジメント株式会社
運用方針	UBS USグロース株式マザーファンドを通じて米国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	「UBS USグロース株式マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

●損益の状況

項目	第10期 自 2022年6月21日 至 2023年6月19日
(A)配当等収益	△158,809円
支払利息	△158,809
(B)有価証券売買損益	10,295,874,571
売買益	10,570,577,093
売買損	△274,702,522
(C)信託報酬等	△230,222,827
(D)当期損益金(A+B+C)	10,065,492,935
(E)前期繰越損益金	4,965,392,824
(F)追加信託差損益金	18,064,834,535
(配当等相当額)	(14,243,412,825)
(売買損益相当額)	(3,821,421,710)
(G)計(D+E+F)	33,095,720,294
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	33,095,720,294
追加信託差損益金	18,064,834,535
(配当等相当額)	(14,246,387,250)
(売買損益相当額)	(3,818,447,285)
分配準備積立金	15,030,885,759

●組入資産の明細

<親投資信託残高>

	第9期末	第10期末	
	口数	口数	評価額
UBS USグロース株式マザーファンド	千口 6,650,572	千口 7,244,257	千円 40,743,150

下記は、UBS USグロース株式マザーファンド全体の内容です。

<外国株式>

銘柄	第9期末	第10期末		業種	
	株数 (百株)	株数 (百株)	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額 (千円)
(アメリカ)			千米ドル		
ADOBE INC	42	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	195	2,373	336,937	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ABBOTT LABORATORIES	—	276	2,933	416,417	ヘルスケア機器・サービス
AMAZON.COM INC	1,502	1,581	19,845	2,817,446	一般消費財・サービス流通・小売り
CONOCOPHILLIPS	136	—	—	—	エネルギー
CONSTELLATION BRANDS INC-A	186	187	4,616	655,440	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	460	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
EXXON MOBIL CORP	162	198	2,090	296,774	エネルギー
EQUIFAX INC	—	93	2,145	304,609	商業・専門サービス
EOG RESOURCES INC	—	181	2,053	291,601	エネルギー
HALLIBURTON CO	427	—	—	—	エネルギー
ELI LILLY & CO	—	125	5,604	795,725	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MICROSOFT CORP	678	824	28,215	4,005,757	ソフトウェア・サービス
MCDONALD'S CORP	163	128	3,781	536,801	消費者サービス
ORACLE CORP	681	663	8,323	1,181,689	ソフトウェア・サービス
PEPSICO INC	—	210	3,920	556,634	食品・飲料・タバコ
SALESFORCE INC	—	159	3,377	479,574	ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	94	139	6,401	908,877	ヘルスケア機器・サービス
WALMART INC	197	—	—	—	生活必需品流通・小売り
APPLE INC	1,398	1,460	27,004	3,833,817	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	198	282	3,910	555,190	メディア・娯楽
UNITED RENTALS INC	130	107	4,348	617,361	資本財
COOPER COS INC/THE	98	106	3,908	554,838	ヘルスケア機器・サービス
UNIVERSAL DISPLAY CORP	125	168	2,408	341,951	半導体・半導体製造装置
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	292	—	—	—	金融サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	—	181	3,680	522,485	資本財
LAM RESEARCH CORP	94	—	—	—	半導体・半導体製造装置
LOWE'S COS INC	268	217	4,727	671,111	一般消費財・サービス流通・小売り
MASTERCARD INC - A	—	300	11,304	1,604,854	金融サービス
NVIDIA CORP	440	391	16,726	2,374,632	半導体・半導体製造装置
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	47	—	—	—	エネルギー
SCHWAB (CHARLES) CORP	442	—	—	—	金融サービス
UNION PACIFIC CORP	202	205	4,211	597,964	運輸
VISA INC-CLASS A SHARES	513	—	—	—	金融サービス
DEXCOM INC	343	341	4,443	630,816	ヘルスケア機器・サービス
TRANSDIGM GROUP INC	86	60	4,916	698,003	資本財
LULULEMON ATHLETICA INC	144	121	4,663	662,044	耐久消費財・アパレル
VERISK ANALYTICS INC	124	155	3,480	494,095	商業・専門サービス
FORTINET INC	52	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TESLA INC	71	276	7,204	1,022,890	自動車・自動車部品

銘柄	第9期末	第10期末			業種
	株数 (百株)	株数 (百株)	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額 (千円)	
EXPEDIA GROUP INC	—	336	3,566	506,357	消費者サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	169	214	6,016	854,201	メディア・娯楽
SERVICENOW INC	81	—	—	—	ソフトウェア・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC	26	246	6,083	863,621	ソフトウェア・サービス
ABBVIE INC	563	423	5,868	833,130	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IQVIA HOLDINGS INC	170	220	4,764	676,452	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BOOKING HOLDINGS INC	19	—	—	—	消費者サービス
BROADCOM INC	84	98	8,591	1,219,761	半導体・半導体製造装置
MONGODB INC	—	64	2,446	347,337	ソフトウェア・サービス
BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS	—	549	3,358	476,812	生活必需品流通・小売り
BIONTECH SE-ADR	101	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MATCH GROUP INC	367	—	—	—	メディア・娯楽
10X GENOMICS INC-CLASS A	174	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DATADOG INC - CLASS A	—	286	2,744	389,620	ソフトウェア・サービス
SHOALS TECHNOLOGIES GROUP -A	—	428	1,061	150,661	資本財
MARVELL TECHNOLOGY INC	744	760	4,649	660,057	半導体・半導体製造装置
HUBSPOT INC	121	97	5,055	717,666	ソフトウェア・サービス
BLOCK INC	169	—	—	—	金融サービス
S&P GLOBAL INC	—	63	2,517	357,463	金融サービス
ALPHABET INC-CL A	75	1,215	15,016	2,131,830	メディア・娯楽
MONSTER BEVERAGE CORP	—	696	4,069	577,799	食品・飲料・タバコ
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,676 45	15,046 44	278,432 —	39,529,121 <97.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、当該日の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

<外国投資信託受益証券、投資証券>

銘柄	第9期末	第10期末			
	口数 (口)	口数 (口)	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額 (千円)	
(アメリカ)			千米ドル		
ISHARES RUSSELL 1000 GROWTH	5,300	—	—	—	
CROWN CASTLE INC	—	16,410	1,880	267,010	
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	5,300 1	16,410 1	1,880 —	267,010 <0.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、当該日の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

短期金融資産 マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日 2022年9月26日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2007年9月26日から無期限です。
運用方針	わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未满是切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比	純資産額
	円 騰落率	% 騰落率	10,000 騰落率	% 騰落率			
第11期(2018年9月25日)	10,138	△0.1	10,106	△0.1	3.7	—	百万円 8,170
第12期(2019年9月25日)	10,129	△0.1	10,100	△0.1	—	—	8,839
第13期(2020年9月25日)	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—	9,348
第14期(2021年9月27日)	10,120	△0.0	10,093	△0.0	—	—	10,085
第15期(2022年9月26日)	10,116	△0.0	10,091	△0.0	—	—	9,151

(注)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券先物率 債組入比率	債券先物率 債比
	円 騰落率	% 騰落率	10,000 騰落率	% 騰落率		
(当期首) 2021年 9月27日	10,120	—	10,093	—	—	—
9月末	10,120	0.0	10,093	△0.0	—	—
10月末	10,120	0.0	10,093	△0.0	—	—
11月末	10,119	△0.0	10,093	△0.0	—	—
12月末	10,119	△0.0	10,093	△0.0	—	—
2022年 1月末	10,118	△0.0	10,092	△0.0	—	—
2月末	10,118	△0.0	10,092	△0.0	—	—
3月末	10,118	△0.0	10,092	△0.0	—	—
4月末	10,118	△0.0	10,092	△0.0	—	—
5月末	10,118	△0.0	10,092	△0.0	—	—
6月末	10,117	△0.0	10,092	△0.0	—	—
7月末	10,117	△0.0	10,092	△0.0	—	—
8月末	10,117	△0.0	10,091	△0.0	—	—
(当期末) 2022年 9月26日	10,116	△0.0	10,091	△0.0	—	—

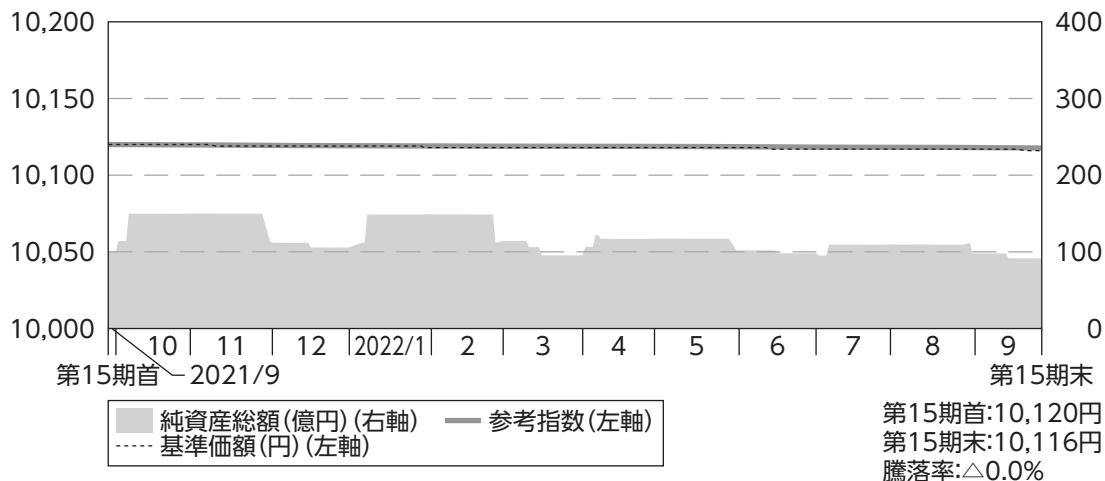
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

参考指数は、無担保コール翌日物金利の累積投資収益率で、設定日を10,000として指数化しております。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

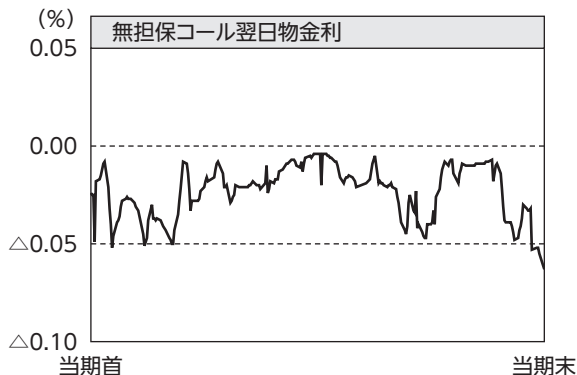


(注)参考指数は、2021年9月27日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りはマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～0.00%近辺で推移しました。このような中、コールローン等にて運用を行い、基準価額は横ばい推移となりました。

投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に $\Delta 0.1\%$ のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね $\Delta 0.08 \sim 0.00\%$ 近辺で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

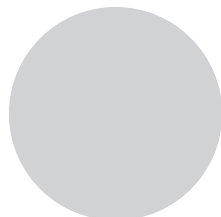
日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等にて運用を行いました。

当ファンドの組入資産の内容

○上位10銘柄

当期末における該当事項はありません。

○資産別配分



短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



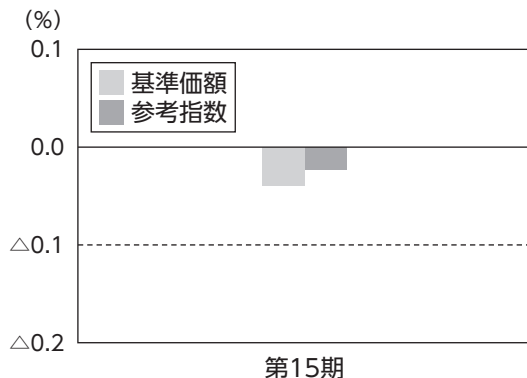
円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



今後の運用方針

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

1万口当たりの費用明細

当期中における該当事項はありません。

売買および取引の状況

当期中における該当事項はありません。

利害関係人[※]との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
コ ー ル ・ ロ ー ン	百万円 2,928,178	百万円 136,215	% 4.7	百万円 2,929,111	百万円 135,105	% 4.6

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 9,152,935	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,152,935	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2022年9月26日現在
(A)資 産	9,152,935,950円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,152,935,950
(B)負 債	1,523,169
未 払 解 約 金	1,502,802
未 払 利 息	20,367
(C)純 資 産 総 額(A-B)	9,151,412,781
元 本	9,046,164,083
次 期 繰 越 損 益 金	105,248,698
(D)受 益 権 総 口 数	9,046,164,083口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,116円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2021年9月28日 至 2022年9月26日
(A)配 当 等 収 益	△4,634,183円
受 取 利 息	55,856
支 払 利 息	△4,690,039
(B)当 期 損 益 金(A)	△4,634,183
(C)前 期 繰 越 損 益 金	119,674,108
(D)追 加 信 託 差 損 益 金	169,275,273
(E)解 約 差 損 益 金	△179,066,500
(F) 計 (B+C+D+E)	105,248,698
次 期 繰 越 損 益 金(F)	105,248,698

(注1) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

※当ファンドの期首元本額は9,965,821,749円、期中追加設定元本額は14,244,392,485円、期中一部解約元本額は15,164,050,151円です。
※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

バランスG(25)VA(適格機関投資家専用)	5,278,040,765円
DCターゲット・イヤー ファンド2025	3,567,940,491円
DCターゲット・イヤー ファンド2035	114,624,285円
DCターゲット・イヤー ファンド2045	59,568,699円
FOFs用 短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	13,408,726円
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	9,880,568円
DCターゲット・イヤー ファンド2055	2,207,063円
米国成長株式ファンド	493,486円

お知らせ

該当事項はありません。